



院内感染対策ニュース



第40号

平成28年12月21日 院内感染対策委員会

ずいぶん寒くなってきました。これから北海道はどんどん寒くなってきましたね。冬に流行する感染症には色々ありますが代表的なものに感染性胃腸炎があります。よく聞くのは「ノロウイルス」です。今回はノロウイルス感染症の対策についてお話します。

ノロウイルス胃腸炎とは？

- ◆冬に多く発生する急性胃腸炎ですが、通年発症しています。食中毒として発症することが多く、ノロウイルスに汚染された食品を摂取したり、ノロウイルスに感染者の吐しゃ物を処理した際に感染することもあります。
- ◆また、吐物が乾燥するとノロウイルスがチリやほこりとともに舞いあがりこれを吸い込むことで感染します。
- ◆多くはノロウイルスに汚染された食材を摂取することで感染しますが、吐物や排泄物の処理の過程で汚染された手を介して感染することがあります。



ノロウイルスの感染力は非常に強い。1gの便中に1億個のウイルスがいます！ 少しのウイルス量で感染。

ノロウイルス胃腸炎の症状は？

- ◆嘔吐、下痢、腹痛が主な症状です。噴射するような嘔吐が出現し下痢が続きます。まれに発熱することがあります。
- ◆潜伏期間は1～2日程度。
- ◆症状は2～3日程度で徐々に回復します。ただし、便中には1～2週間程度ノロウイルスが存在し排泄されると言われています。

検査・治療は？

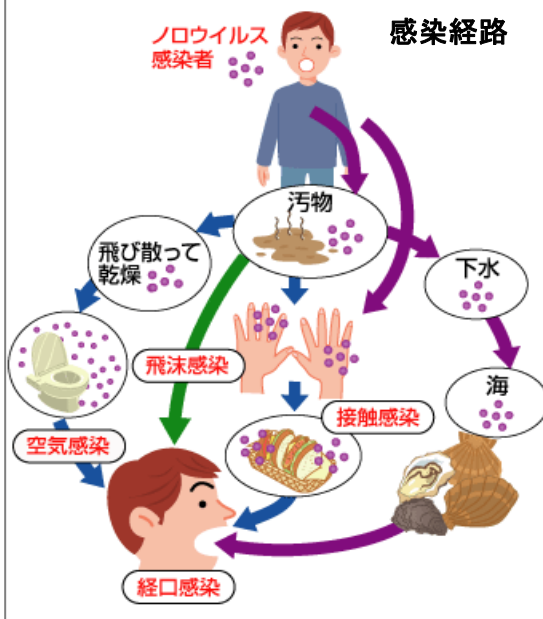
◆ノロウイルスの検査は便の検査です。30～60分程度で結果が出ますが保険適応となるには条件があり(右参照)、適応外の場合は**自費**になります。検査で陽性となるのは7割前後と言われており、陰性となっても症状がある場合陽性と考えて対応します。そのため、原則外来患者さんの場合は検査を実施しません。集団感染の可能性がある場合や患者さんが強く希望し、自費の検査に同意された場合、医師の判断により検査を行います。

◆ノロウイルスは**特効薬やワクチンはありません**。発症してしまった場合、安静にして脱水を予防することが大切です。**水分をしっかりと摂取し脱水を予防**しましょう。子供やお年寄りには抵抗力が低下していると重症化しやすいと言われています。

感染対策は？

- ◆ノロウイルスは熱に強くアルコールも効果がありません。手指消毒薬は効果が期待できないため、こまめに流水で手を洗いましょう。
- ◆吐物や便の処理をする場合は、接触予防策をしっかり行ってください。
- ◆吐物や便が付着した衣類は流水で汚染を取り除き、次亜塩素酸ナトリウムで消毒が必要です。次亜塩素酸ナトリウムは塩素の刺激臭がするため使用する際には必ず換気をしてください。

詳しくは院内感染対策マニュアルを参照して下さい。



ノロウイルス迅速検査の保険適応

- ・3歳未満の方
- ・65歳以上の方
- ・悪性腫瘍の診断が確定している方
- ・臓器移植後の方
- ・抗悪性腫瘍剤、免疫抑制剤又は免疫抑制効果のある薬剤を投与中の方



砂糖 6杯

塩 1杯

経口補水液の作り方

水1Lにティースプーン6杯の砂糖と1杯の塩を混ぜてできあがり！



次回もお楽しみに!!

